



新年明けましておめでとうございます！今回は橋梁特集です！

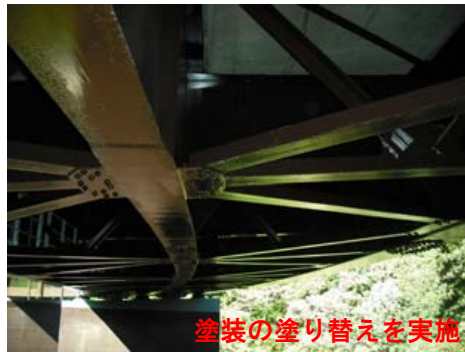
県庁道路整備課で橋梁の長寿命化計画を担当している古橋さんにお話を伺いました。



鋼材が腐食

橋梁下面の状況

補修後



塗装の塗り替えを実施



道路整備課 古橋さん



鉄筋が露出

橋梁下面の状況

補修後



断面の補修を実施



Q. 橋梁の長寿命化計画とはどんな計画ですか？

A. 県が管理する橋梁のうち、架設後50年以上を経過している橋梁は全体の約2割であり、このまま推移すれば、20年後には全体の約7割を占めることとなります。このため、県では、平成20年度に「静岡県橋梁中長期管理計画」を策定し、管理コストの低減と平準化を図るとともに、橋梁の長寿命化と計画的な維持管理を行うアセットマネジメントに取り組んでいます。



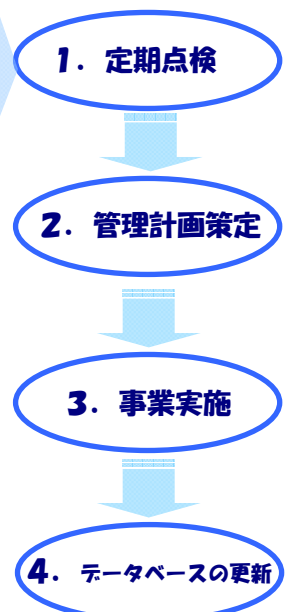
Q. 橋梁のアセットマネジメントとは何ですか？

A. 公共施設を資産としてとらえ、施設を客観的に把握・評価し、中長期的な資産で状態を予測するとともに、予算的制約の中でいつどのような対策をどこに行うのが最適であるかを考慮して、計画的かつ効率的に管理することです。右記のサイクルによる維持管理を実施し、橋梁の安全性確保や維持管理費の縮減、平準化を実現していきます。

1. 橋梁の点検を行い、損傷状況等を的確に把握します。
2. 点検結果に基づき、点検、補修・架替えの時期や必要となる予算を定めた計画を策定します。
3. 計画に基づき、橋梁補修を実施します。
4. 点検結果や補修履歴等をデータベースに保管します。

Q. 従来の管理方法とどんなところが違いますか？

A. 橋梁の重要性・特性を把握した上で、各橋梁をグループ分けし、それぞれのグループに応じた適切な管理手法を設定しています。損傷が顕在化した時に大規模な補修を実施する従来の管理方法と比べ、効率的な管理を行うことができます。



アセットマネジメントの
管理サイクル

Q. 橋梁の点検とはどんなことをしているのですか？

- A. 管理する橋梁の現状把握を目的とし、安全性や耐久性に影響する損傷の有無を確認しています。
健全度は、橋梁に全く損傷がなく健全な状態を100とし、損傷状況に応じて減点した評価値です。
静岡県では、橋の健康状態を健全度HI (Health Index) という指標で評価し、必要な対策を立てることとしています。



橋梁点検研修の実施

Q. 橋梁の長寿命化で重要な事は何ですか？

- A. 長寿命化への取組の推進には、以下の3つが重要です。

- ① 橋梁の点検の信頼性確保のため、職員の技術力向上。
- ② 橋梁の点検結果や補修事例などをデータとして蓄積し、今後の橋梁管理に活かすこと。
- ③ 橋梁の現状や今後の計画を県民に向けてPRし、県民の皆様の理解を得ること。

橋梁管理に関しては、厳しい財政状況や橋梁の“高齢化”等、課題は多々ありますが、道路交通の安全性確保や維持管理費の縮減を図るべく、計画の推進に取り組んでいきます。



— 建設技術監理センターよりお知らせ —

静岡県では、県内自治体等の要請に対して、長寿命化計画についての講習を個別に実施しております。内容は主に、

- ① 静岡県の土木施設の長寿命化の推進(全般的な内容)
- ② 個別工種(橋梁、舗装など)の専門的な内容となっています。

「これから長寿命化計画を策定する。長寿命化計画を検討している。」など、講習を希望する自治体は、建設技術監理センターまでご連絡ください。

※研修報告

平成23年10月14日に東京の財団法人全国建設研修センターからの依頼により国、地方公共団体、及び民間企業等の職員を対象とした土木施設のアセットマネジメント研修で、静岡県における長寿命化計画の取組の紹介を行いました。

当日は、建設技術監理センター技術支援第2班より、「静岡県における長寿命化計画の取組全体の概要」、道路保全課舗装班より、「静岡県における道路舗装アセットマネジメントの取組」を紹介しました。

先進的取組事例を全国の関係者に紹介できたことを弾みとし、今後も土木施設の長寿命化の推進に積極的に取り組んでいきます。



当日は、静岡県のほかに、東京大学大学院 小澤一雅教授から「アセットマネジメントに行政が取組む必要性」についての講義もありました。

<第8号の発行にあたり>

今回特集した橋梁の寿命の問題は、静岡県だけではなく、全国的な問題となっています。アメリカでは、高速道路に架かる橋の突然の落橋で多数の死者が出るという、悲痛な事故も発生しています。このような事態が起らないようにするためには、施設点検が最も重要になります。建設技術監理センターでは、県、市町職員を対象とした橋梁点検講習会などの土木技術職員向けの研修を多数実施しています。広い視野と専門知識の取得、技術力向上のため、当センターの研修を積極的に活用してください。

- 前回のクイズの答えは、③の250gal以上です。
静岡県が管理する水門・陸閘は、250gal以上の地震の加速度を感知して作動します。

橋梁に関するクイズです。

- 河津町にあるループ橋は、何重(回転)構造になっているでしょうか。
①2重構造 ②3重構造 ③4重構造 答えは次号で発表します。

発行・編集

静岡県建設技術監理センター
技術支援第2班 佐原・海野

〒421-0122
静岡市駿河区用宗1丁目10-1
TEL 054-268-5004
FAX 054-258-6030